

2022年6月17日(金)晴れ、暑い。午前中「⑨昭和の森を歩くみち」を歩き終えて、新治小学校前(新治郵便局)に到着した。少し休憩して本コースを歩く。

タイトルの通常総台地を縫うように、殆どの行程が山里と山里を継ぐ快適な道であった。ゴールの地蔵局前のバス停も、山里の中にあった。到着駅は外房線の茂原駅である。ここから首都圏に帰るには便利だ。



新治小学校前の交差点際がスタートライン、右手角に案内板と道標が見える



道標に従って上人塚へ向かおう、3kmある、昭和の森への矢印は折れている



山里への導入路であろうが、歩道が無くて危険。千葉の運転手はスピードの出しすぎ



畑の中に「芝崎神社」がある。日本武尊東征の砌、房総に上陸して、この地にご陣所を設けたと伝える。祭神は天照大神、応神天皇（祠は古墳のような気がする）



少しは山里のみちに入ってきた



上太田の集落から、25m→100mの台地にする



真名ゲーリーゴルフクラブ敷地の隅に「真名上人塚」があった



戦国時代、土気城主は領地内の寺院に対して、日蓮宗に改宗させようとしたが、真名上人は断固拒否して怒りを買って、生き埋めにされてしまう。



村人達はその死を悼み、霊を慰めるために塚を築いた



台地に沿って山里のみちを「ふる里村」へ向けて歩く、風が通り抜けて少し涼しい



昔、この山里深くに「長柄ふる里村」を作った。バブルの頃のリゾート地



宿泊施設、テニスコート、プール、釣り堀等娯楽施設がある



関東ふれあいの道は、レジャー施設区画を通り抜けて、里の方に下ってゆく



台地の上を緩やかに下りながら、里に向かう



今日のコースの、核心部を歩いているのかな



道は舗装されて残念だが、素敵なコースとなっている



ここでは電信柱も電線もあって気に入らないが、緑一杯の道が気持ち良い



殆ど車が通らないから、安心して歩ける



市津湖と言う多目的貯水池を長柄大橋で渡ると



六地藏の集落に入る、外房線の茂原駅まで行くバスがこの集落を通るので



バス通りが今日のコースのゴール地点となる。バス停には次の⑪コースの案内が出ている



15分程の待ち合わせで、茂原駅行きの小湊バスが来た



外房の茂原は大きな町だから、首都圏方面への電車も多く出ている

[参考タイム]新治小学校(10:50)→真名上人塚(12:00-12:20)→長柄ふるさと村(13:05-13:10)
→浄水場(14:00-14:10)→長柄大橋(14:48)→六地藏局前(15:00-15:15)茂原駅(15:50-16:20)
16km、4時間25分 この項完

「関東ふれあいの道(千葉)⑪森と森をつなぐみち」へ続く